

## 令和元年度 第2回石狩市浜益区地域協議会議事録

【日 時】 令和元年6月25日（火）18:30～20:00

【場 所】 浜益支所2階庁議室

【資 料】

- 1) 会議次第
- 2) 主要施策の概要（肉付け予算）
- 3) 浜益区地域おこし協力隊の歴史
- 4) 北海道暮らしフェア2018チラシ
- 5) JOIN移住交流&地域おこしフェア2019チラシ
- 6) 旧適沢コミセン平面図
- 7) 第7期名簿（30.04.01）

【出席者】 9名（15名中）

役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠
会長	宮田 勉	○	委員	三上 正信		委員	渡邊 真奈美	○
副会長	大久保 満彦	○	委員	辻 カヨ子		委員	大浦 浩	○
委員	寺山 広司	○	委員	羽立 裕子	○	委員	徳地 克実	○
委員	門脇 弥		委員	岸本 紀子	○	委員	石川 宗	○
委員	小田 則貞		委員	中元 義晴		委員	瀧 勝明	

（支 所） 松田支所長、成田市民福祉課長（併 浜益生涯学習課長）、  
 宇野市民福祉課保健福祉担当課長（兼 はまます保育園長、浜益国保診療所庶務課長）  
 柿岡浜益区地域おこし協力隊員

（事務局） 佐々木地域振興課長、藤巻主査  
 （企画経済部） 企画課 三上主任

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
  - ① 浜益中学校3年生修学旅行における直販の結果について
- 4 協議事項
  - ① 次年度以降の地域おこし協力隊について
  - ② 地域振興等のアイデアについて
- 5 その他
  - ① 第8期浜益区地域協議会委員について
- 6 次回の開催日程について
- 7 閉 会

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

### 【宮田会長】

元号が平成から令和に替わり、1ヶ月が過ぎようとしている。5月には市長と市議選挙があり、新しい体制で市政が進められると思う。新市長には、多く浜益に足を運び、地域住民の生の声を聞き、石狩市全体の均衡ある発展にご尽力いただきたいと思いますし、地域協議会も引き続き市と一体となり、地域住民の幸せのため、知恵を絞っていかねばならない。委員皆さんのご理解とご協力をお願いします。

区内では、4月21日から日曜朝市を開催し、多くの観光客に来場いただいた。初日は好天にも恵まれ、浜益豊漁太鼓の演奏等、大変盛り上がっていた。その中で浜益中学校の生徒が売り場に立ち、元気な声で朝市に参加していた。

一方農家では、田植えが順調に進んだようで、苗が日増しに青々と伸びているのが分かる。秋の収穫が今から楽しみである。

そして、ナマコ漁が始まったが、今年の見通しはどうか、ウニ漁とともに大漁となるよう祈り、期待している。

わかもん会、まちづくり協議会、地域おこし協力隊の活動は、私どもの元気の種となっている。これからの活躍を楽しみにしている。

## 3 報告事項

### (1) 浜益中学校3年生修学旅行における直販の結果について

- ・浜益中学校3年生の代表4名から4月24日（水）に横浜橋通商店街で実施した産直販売について体験内容等を発表した。

## 4 協議事項

### (1) 次年度以降の地域おこし協力隊について

- ・浜益支所地域振興課から、委員に配布した資料に基づき説明した後、「浜益区の求める人材」について協議し、補正予算を了承した。

### 【宮田会長】

- ・地域おこし協力隊については、過去にも様々な面から議論してきたが、来月の議会で予算を審議、そして、今後の地域おこし協力隊の増員を進めたいとのことだが、予算措置は大丈夫なのか。

### 【佐々木課長】

- ・まだ案だが、地域おこし協力隊員の招致活動を行うため、6～7人分の費用弁償や旅費の予算である。現隊員にも同行してもらい、頑張っている姿を見せるのもポイントである。また秋以降は、農家の皆さん等も余裕が出てくるのではないかと思いますので、この予算を活用した活動に参加してもらいたいと思っている。具体的なイメージを地元の方が伝えることによって、隊員になることを悩んでいる候補者が、一歩踏み出す勇気に繋がってもらうことを期待している。

### 【宮田会長】

- ・費用弁償の予算化は、初めてのこと。協力隊の増員についても今まで積極的に考えなかった。

### 【寺山委員】

- ・受ける側も受け入れる側も心の準備が必要。そういうイベントに参加し、色々な方を見た方がいい。

### 【宮田会長】

- ・まず、受け入れる我々が、どのような人材を欲しているのか、ただ漠然と参加してもダメだと思う。

**【寺山委員】**

- ・ただ、希望する方はなかなかいない。ざっくりとした中から何人かを採用する考え方を持つ必要がある。自分の理想はどうしても高くなる。見聞を広げるためにも参加したほうがいい。

**【宮田会長】**

- ・今後、浜益で求める人材、具体的なイメージをお聞きしたい。今日すぐには、なかなか意見が出ないかもしれないが。

**【柿岡隊員】**

- ・他の隊員を多く抱えている地域では、Uターン対策の形で採用している。その地域の出身者を地元と呼ぶため、この制度を活用している。それも選択肢の一つではないか。

**【宮田会長】**

- ・これをイメージした訳ではないが、地域づくりのアイデアの募集等をしてきたが、新たなものがあれば、発表していただきたい。アイデアの募集については、締め切り等は特段設けていないので、何か自分でイメージがあれば、提案していただきたい。それを皆さんで議論しつつ、地域おこし協力隊の拡充を図っていききたい。

**【佐々木課長】**

- ・先ほど、一例を示したが、その他企画課が参加しているものもあるので、イベントに参加することだけにとらわれず、色々な方に声を掛け、予算を有効に活用できたらと思っている。寺山委員の発言のとおり、こちらでイメージを固めても理想の人物像は難しいので、ある程度考えはまとめるが、一方でイベントに参加して、移住、地域おこし協力隊を考えている方を見て、イメージすることも必要である。この予算については、令和元年度の予算だが、今年度で必ず見つけ出すというよりは、これをきっかけに継続的にオール浜益で人材を発掘する機会となればと考えている。アイデアについても思いついたら随時提出願いたい。

**【松田支所長】**

- ・厚田は、地域のニーズもあるが、オペラなど個性の強い方を採用したので、2人目、3人目にも採用された方の個性を地域で活かしてもらえないかとの思いがあって、人数増の方向に進んだと聞いている。

**【渡邊委員】**

- ・先日、小樽で開催されたフットパスに参加した。歴史や自然について、ガイドが説明しながら歩くイベントである。子どもたちも植物についての説明に聞き入っていた。また、それとは別の自然ガイドが浜益を訪れ、果樹園で対応した。ガイドで生活できる仕組みが整っていないが、このような方を採用したいと思った。

**【宮田会長】**

- ・地域おこし協力隊やまちづくりを含めた道内での先進地視察を実施する場合、市バスを利用することは可能か。

**【佐々木課長】**

- ・道内の地域おこし協力隊の活躍を視察するのであれば大丈夫だと思う。

**【松田支所長】**

- ・今回の協力隊の予算は、まさにその部分である。皆さんが主体でありながら、区外でそのような事業に参加することがなかなかなかったので、その中で知るものもたくさんある。そういう一つにしていけたらと思う。

**【宮田会長】**

- ・委員の皆さんも視察したい場所があれば相談してほしい。一人での視察はなかなか難しいので、支

所の協力を得ながら、可能であれば視察したいと思っている。

【佐々木課長】

- ・今後、予算要求する予定と理解してほしい。予算の成立は7月末であり、実際に予算執行ができるのは、8月以降となる。次回以降の協議会で状況をお伝えし、相談しながら進めていきたい。

(2) 地域振興等のアイデアについて

- ・浜益支所地域振興課から委員に配布の資料に基づき、概要を説明した後、「旧適沢コミュニティセンター」の活用を協議した。また、各委員から提案された浜益で実施したい事業等の趣旨を発表したのち、提案されたそれぞれの事業について協議した。

【宮田会長】

- ・カフェ・ガルの昨年9月の営業終了以降、使用されていない。昨年の4月頃からガルが解散することの情報を得ていたが、その後の活用策を昨年から協議できれば良かった。今回一般の方から使用の打診があったようだが、事務局からの説明のとおり、なかなか難しいとの事情が分かる。今後、公平な方法で利用者を決定したいとのことは理解できる。旧適沢コミセンの更なる有効活用について、委員皆さんから考え方、アイデアがあれば、参考のために意見をいただきたい。

【大浦委員】

- ・今聞いている、ハードルが高いと感じた。現状では、食堂開設を希望した方にも各種手続きがあって難しいとのことで、断ったとのことであるが、逆にどのようなことなら利用できるのかが、よく分からない。市の所有物なので本庁にお伺いを立てなければならない状況なのか。

【佐々木課長】

- ・現在は普通財産となっており、支所管理であり、こちらで決められる。手続きでは、その方以外に利用したい方がいた場合バランスが保てない。早い者勝ちにならない仕組みが必要だと考える。

【大浦委員】

- ・それならば、その公募に早い者勝ちですと記載すればいい話ではないのか。

【佐々木課長】

- ・それもあるが、募集自体ははっきりしていなかった。現段階では募集もしていなかった。

【大浦委員】

- ・どの施設を借りるにも当然早い者勝ちになる。全道各地の施設を借りる場合、1年前から予約が入っている。それと同じではないのか。

【松田支所長】

- ・貸し出しのスペースではないので、貸し出すためにいくらで貸すのか、どのような要件を設定するのかなどの整理がされていない施設である。今回の話があったときに、シーズンで使いたいとのニーズなり、週末の何日かだけイベント的に使いたいなど、各ケースに対して、どういった条件なら貸せるのかという整理ができていない状況である。
- ・昨年まで使用してきた施設なので、面積に応じた使用料など基礎的な事項や条件を整理し、そのうえで先着順か、広く募集、選考するのかを整備する作業が必要であると考えている。また、その際地域として、どのような利用方法が望まれるか、といった要素を加えることもできると考えており、その部分の意見をお聞きしたい。

【大浦委員】

- ・単純にそのことを整理し、条件を提示して貸し出すのが、早いと思う。

【松田支所長】

- ・当該施設をそのままにして朽ちていくのは、偲びがたいし、もったいないので、何とか活用できないかとの基本的な考えを皆さんもお持ちだと思ふ。それに対して、貸し出しができるように整理し、

条件整備を支所でしていなかったもので、それを早急にして来年以降使用できるよう、段取りを付けたい。

【大浦委員】

- ・色々なことを整備するのは分かるが、あまりがちがちに整備をすると時間が掛かると思う。現状の施設で、まず貸し出せることは何なのか。スピード感が必要である。具体的には、この夏に貸し出して、修正部分があれば修正し、各条件を後付けする方法もある。進めていかなければ話が進まない気がする。

【佐々木課長】

- ・平面図をお示ししたが、1階のカフェ・ガル利用部分以外は、利用されていない、その部分の利活用についても清掃のほか管理費も掛かることから、検討したいと思っている。1階の一部は教育委員会の展示スペースで活用されていたが、2階のホールも展示スペースにするとか、全体管理はどうするのかなど考えどころである。

【松田支所長】

- ・色々なニーズのために貸す場合、準備段階で厨房施設の改修、シャワー施設の増設など施設改修をした場合、それだけのニーズがあるのかが疑問である。現状のまま貸し出すのか、施設利用者が改修し利用してほしいとのスタイルの中で、利用の形態、目的を勘案し、地域、行政がどこまで支援できるのか、ケースバイケースで考えることもある。

【大浦委員】

- ・2階で宿泊できないかを考えていて、現状活用していなければ整備し、宿泊させた場合、どれくらい的人数が宿泊できるのかを考え、合宿などができないものなのか、それに対してシャワー室を整備するには莫大な経費を要するので、ありのまま提示し、浜益温泉に誘導するなどの方法で構わないと思う。厨房を使用しているのか、弁当などを持ち込むのかなど貸し出し方法がある。札幌の子どもたちは、自然豊かな場所に来たがったりするので、呼び込む材料となる。キャパシティは小さいが、札幌でも少人数校があるので、ここを拠点に各体験をするなどの可能性はある。

【寺山委員】

- ・宿泊させる場合には許可が必要なのか。誰が経営するのか。

【松田支所長】

- ・宿泊には、色々条件があると思う。

【柿岡隊員】

- ・簡易旅館業、宿泊業など業態によって申請が異なってくるのでは。

【佐々木課長】

- ・セミナーハウスなど、単なる研修施設であれば、宿泊業の申請は必要ないのでは。

【寺山委員】

- ・そこに金銭が発生したら、宿泊業にならないのか。

【宮田会長】

- ・客を宿泊させるのが主目的であれば、もちろん許可が必要だが、葬儀や研修など主目的が違うので、宿泊業に当たらないのではと思う。

【松田支所長】

- ・貸し館として、宿泊を前提にはしていないと思うので、細部理解していないが、基本的に研修などをするための施設として、市が管理者なら消防法上の制約など市が設置する側として、当然クリアして貸し出さなければならない。今回に関しては、そのような利用をしたいという方もいるかもしれないし、そうでないこともあるので、そのケースによって必要部分については、ケースバイケース

になっている。色々な話があった場合のベースとなる整理ができていないので、そこを決めようとしている。

**【寺山委員】**

- ・この施設を貸し出したとき、色々なアイデアが出てくると思うが、使用料、電気料金などの経費が掛かるが、その経費はマイナスになってもいいのか、プラスにしなければならないのか。

**【松田支所長】**

- ・基本的には、市がマイナスになる設定はしないので、一定の経費は利用者側に求めることになる。ただ、実際にシーズンを通して商売をしない限り、その経費を払ってもなお利益が出せるような条件になるかというところではない。

**【寺山委員】**

- ・合宿など単発で貸し出すと絶対マイナスになる。そうなる前提で貸し出すのか。最初の考えということで質問した。

**【佐々木課長】**

- ・最低限、使用した分については、相応の負担をしていただくのは必要だと思っている。開館にあたり、消防点検など15万円ほど必要となる。しかし、そのすべてを利用者に求めるのは酷だと思っている。基本的には使用した分を回収できるような算段で計画はするが、どうしても持ち出しは出てくると思う。

**【宮田会長】**

- ・商売をする方が利用するのであれば、市としては、プラスになる方向で考えるが、子どもたちが利用する宿泊施設、研修施設なら、それを料金に求めるのは無理がある。そこを住み分けていかなければならない。

**【松田支所長】**

- ・旧適沢コミセンを廃止した経緯があるので、それを再び貸し館にすることは相当ハードルが高いと思う。行政財産は、行政の政策目的の財産のことをいうが、その政策目的からはずした財産が普通財産であり、現在この施設はその扱いである。単純に考えれば、買いたい方がいれば、適正な価格で売って終わりとなる。壊さず活用を続けるのであれば、コスト的にクリアできる形で活用するのが理想である。

**【宮田会長】**

- ・子どもたちの研修施設であれば、行政財産になるのでは。

**【松田支所長】**

- ・単発で貸し出すことは、普通財産でもある。そこに多額の費用をかけてシャワー室を設置するなどには疑問があるが、多少の部分改修なら負担をしても貸し出すとか、状況によって変わってくる。できるだけ貸し出しができる視点の中で、詰めていく話だと思っている。

**【佐々木課長】**

- ・例えば、1階をテナントとして浜益の匂を提供する食堂施設、テナントとして、2階その他のスペースが簡易宿泊施設やセミナーハウスとしての利用提案などがあれば、望ましいのでは。

**【松田支所長】**

- ・基本的な条件について、市として整理する。また、前利用者には基金を活用して支援をしてきた。誰が主体で、どういう目的で、どういう活動をするかなど、内容によっては地域や行政も応援しやすい場合もある。

**【佐々木課長】**

- ・今後、色々な提案があれば、随時受け付けたい。平行して市として早急に条件を整理する必要があ

らと思っている。

## 5 その他

- (1) 第8期浜益区地域協議会委員について
- ・浜益支所地域振興課から情報提供した。

### 【佐々木課長】

- ・今年9月末で第7期の地域協議会委員の任期が終了する。
- ・今後、事務局により第8期の委員の選出、選任を進めていく。
- ・委員の構成だが、第7期と同様に区内の各種団体からの推薦委員を10名、識見を有する委員を2名、一般公募による委員を3名の計15名と考えている。
- ・なお、一般公募による委員の募集期間は、広報いしかり8月号に掲載し、8月30日までの1ヶ月間とする予定となっている。

## 6 次回の開催日程について

- ・第3回協議会は、8月6日（火）に開催することとした。

## 7 閉 会

令和元年7月31日 議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 宮 田 勉